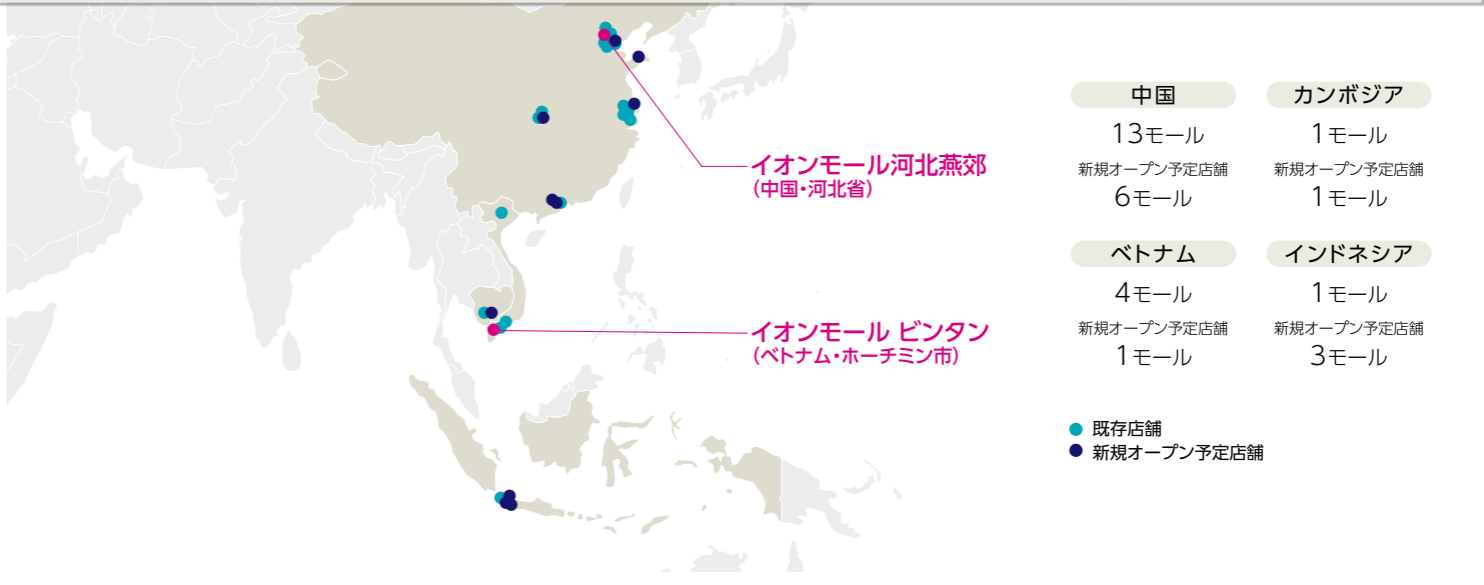




特集3

海外モールの最新動向

2008年に中国・北京市に海外第1号店をオープンして以来、既存モールの成功を背景に、中国およびアセアン各国で順調に出店を続けています。最新の環境設備も含む先進的なモールづくりによって各国で新たな価値を創造するとともに、マネジメントの現地化も積極的に推進しています。



ローカルスタッフの主導で河北省1号店をオープン イオンモール河北燕郊 (中国・河北省)

ホーチミン3号店 先進のエンターテインメントモール イオンモール ビンタン (ベトナム・ホーチミン市)



2016年7月のオープンから半年間で840万人のお客さまにご来館いただきました。「広くてきれいで感激した」という声をたいへん多くいただいています。当モールは、安全・安心にショッピングをお楽しみいただける環境づくりにおいて、これまでのベトナム国内の商業施設にない高水準な環境をご提供できていると自負しています。電力事情が不安定な当地の状況をふまえ、バックアップ用の回線を備える2回線受電を行うとともに、停電や災害が発生した場合には非常用発電機によってモール内で使用する電力をバックアップする態勢を整えています。また、万一火災などが発生した場合、建物に不案内なお客さまを安全に避難誘導、救出救護し、初期消火

を行うことを目的に、「自衛消防組織」を全従業員で構成するなど、ハード・ソフトの両面から安全性の確保に努めています。また、ベトナム国内のイオングループのショッピングモールで初めて太陽光発電設備を採用したほか、照明やサインのLED化、高効率空調機の採用など、先進的な環境設備を導入しました。加えて、館内のごくからでもグリーンが目に入るよう各所に植栽を配置し、お客さまからも好評をいただいています。

イオンモール ビンタン
ゼネラルマネージャー
川端 真也



▲開放的なテラス席を擁するビアレストランを核テナントにしたアウトモール。壁面や柱も緑化し、環境と景観に配慮しています。
▲駐車場、バイク駐輪場屋根に合計約320kWの太陽電池モジュールを設置。年間約270トンのCO₂削減をめざします。
▲3階レストランゾーンの中に、森をイメージしたフォレストパークを配置。常に近くに緑が感じられる居心地のよい空間をご提供します。
▲エコインフォメーションでは、太陽光発電の稼働状況をはじめ、さまざまな環境への取り組みをお客さまにご紹介しています。



私は中国1号店からイオンモールで仕事をしており、今回はじめて中国人の開設委員長として新規モール立ち上げの責任者に就任しました。日本発の商業施設の高水準なサービスや安全・安心を現地のみなさまに実感していただこうと、約20名の中国人スタッフがチームワークを発揮し、開発、建設、リーシングなどの各部署と連携して準備を進めました。人材のローカライズを進めるうえで大切なのは、なんといってもチームワーク、そしてコミュニケーションによる信頼関係です。政府との交渉、専門店との協議、お客さまへの対応、すべてにおいて丁寧な対話を重ね、地域社会で確かな信頼のネットワークを構築すること。それが長期的な成功を収めるための

条件になると考えています。中国でも環境に対する意識が高まっており、ごみの分別や廃電池の回収に多くの方からご協力をいただけるようになりました。同時に健康に関心を持つ方が増えており、「スモッグが発生すると安心して散歩できる場所がない」というお客さまの声に応えたウォーキングコースがたいへん好評をいただいています。

イオンモール河北燕郊
ゼネラルマネージャー
王 勇



▲健康増進を兼ねてモールを楽しく歩いていただけるよう、館内に約640mのモールウォーキングコースを設定しました。約50mごとに歩いた距離と消費カロリーを表示した道標をベンチとともに配置しています。
▲人気のブランドが一堂に集まるスポーツゾーンのシンボルとして館内にバスケットボールコートを設置しています。
▲お体の不自由なお客さま専用駐車場を51台設置。車室の幅を広げ、開閉を遠隔操作できるゲートバーを備えています。